

2024 年 10 月 25 日

関係機関の長 殿

東北大学高度教養教育・学生支援機構長
滝澤 博胤

教員の公募について(依頼)

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび東北大学高度教養教育・学生支援機構では、言語・文化教育センター所属の教員（日本語教育担当）を下記により公募いたします。つきましては、多用のところまことに恐縮ですが、貴機関関係者へのご周知方よろしくお取り計らいくださるようお願い申し上げます。

敬具

記

CLC2024-J2

1. 所属：高度教養教育・学生支援機構 教育内容開発部門 言語・文化教育開発室に所属し、言語・文化教育センターの業務に従事する。
2. 職種：准教授 1 名
3. 専門分野：日本語教育またはその関連分野
4. 職務内容：1)大学における日本語教育の実施
授業科目として、留学生対象の日本語教育科目を担当する
2)他の教員と協力し留学生に対する日本語教育プログラムや国際共修授業の開発および運営
3)本学の国際化に対する貢献
4)その他、配属される言語・文化教育センターおよび高度教養教育・学生支援機構の業務に携わる
5. 応募資格：
 - ①学歴：博士の学位を有するか、もしくはそれに準ずる能力を有すること
 - ②教育歴：大学等における日本語教育の経験を有すること
 - ③その他：大学における日本語教育改革を先導的に進める意欲を有すること
6. 任期：なし
7. 採用予定年月日：2025 年 4 月 1 日
8. 待遇：本学就業規則に基づく。

9. 提出書類：

1) 履歴書（学歴、職歴、写真添付）（本学様式）

※様式は以下からダウンロードすること。

https://c.bureau.tohoku.ac.jp/jinji-top/external/resume_cv/

2) 教育・研究業績リスト（研究業績については著書、論文、学会発表、その他に分け、査読の有無を明記すること）

3) 主要論文の別刷り（コピー可）3 編程度と当該主要論文の概要（論文毎に 300 字程度）

4) これまでの教育・研究業績についての概要（2000 字程度）

5) 本学における日本語教育に関する抱負（2000 字程度）

6) 推薦状 1 通

7) 6)の推薦者以外で、応募者について所見を伺える方 1 名の氏名、所属、連絡先

10. 応募締切：2024 年 12 月 12 日（木）（必着）

11. 選考方法：原則として書類審査の上、面接を行う。（旅費は応募者の負担とする。）

12. 問合せ先：

1) 公募内容等について

東北大学高度教養教育・学生支援機構

言語・文化教育センター 教授 菅谷奈津恵

E-mail: natsue.sugaya.e1 * tohoku.ac.jp

（メールアドレスは、送信時に * を@に置き換える）

2) 書類提出方法等について

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 41

東北大学教育・学生支援部学務課学務総務係

電話：022-795-7537 E-mail: iehe-kobo * grp.tohoku.ac.jp

（メールアドレスは、送信時に * を@に置き換える）

13. 応募方法：電子メールにて受け付ける

必要書類のファイルを上記のアドレス（iehe-kobo * grp.tohoku.ac.jp）に送付のこと。

ファイルはパスワードをかけた pdf 形式とし、パスワードは別途電子メールで知らせること。サブジェクト欄に「CLC2024-J2」と明記すること。

受理通知を必ず確認のこと。なお、送信日から 2 日後（土日祝日、その他休業日を除く）

までに受理通知が届かない場合には必ず電話で問い合わせをして、応募書類の着信の有無を確認すること。

推薦書について：推薦書は、応募書類とは別に電子メールで推薦者から直接送付のこと。

14. その他

・東北大学は多様性、公正性、包摂性(Diversity, Equity & Inclusion : DEI)を向上させる活動を推進しており、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

東北大学 DEI 推進宣言 WEB ページ <https://dei.tohoku.ac.jp/vision/about/>

・雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第 8 条に基づき、女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とさ

れている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。

- ・東北大学には、全学教職員が利用できる川内けやき保育園（定員 22 名）、青葉山みどり保育園（定員 116 名）および、星陵地区の方が利用できる星の子保育園（定員 120 名）があり、全国の国立大学の事業所内保育施設として最大規模の保育環境が整っています。また、大学病院内に軽症病児・病後児保育室もあり、全学教職員が利用できます。

- ・その他、男性教職員の育児休業等促進策も含めた本学の両立支援、研究支援等の詳細および共同参画の取組については、下記 URL をご覧ください

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ

https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for_family/

人事企画部 WEB ページ

<https://c.bureau.tohoku.ac.jp/jinji-top/external/a-4-kosodate/>